

# ( 右 ・ 左 ) 大腿骨頸部骨折で入院された患者様へ

日付 経過	手術前日	手術日 (術前)	手術日 (術後)
目標		痛みが少しでも緩和される。 不安なく手術を受けられる。	全身状態が安定し苦痛がない。 創部の安静が保てる。
内服	いつも服用している薬を看護師に渡してください。	医師の指示がある薬のみ内服していただきます。	
注射		点滴を開始し、翌朝まで継続します。	抗生物質の点滴をします。
処置	弾性ストッキングを装着します。		手術後～翌朝まで、 自動血圧計と心電図モニターを装着します。
リハビリ	ベッド上で出来るリハビリを開始します。		
食事	入院後は食事ができます。 ( ) 時以降は食べないでください。	食事は欠食となります。 水分は ( ) 時まで摂ることができます。 以降は絶飲食となります。	医師の許可があれば、看護師がお腹の動きを確認した後、飲水が可能となります。
安静	基本的にベッド上での安静となります。		翌朝までベッド上で安静にしてください。
排泄			おしっこの管が入った状態で帰室します。
清潔		体拭きを行います。 医師の許可があれば、シャワー浴をします。	
説明 (その他)	主治医、麻酔科医から手術の説明があります。 入院生活を安全に過ごせるよう、抑制の許可を頂く場合があります。 病衣、バスタオル、おむつ等の準備物を看護師が確認します。 疑問や不安な点があれば、いつでもご相談ください。	コンタクト、義歯、装飾品、湿布等は外します。 手術中、ご家族は原則、病院内で待機しててください。	痛みがある場合は、 我慢せずにお知らせください。 

注1 この予定は現時点で考えられるものであり、今後検査治療等を進めていくに従って変更となる場合があります。

注2 入院期間は現時点で予想される期間です。

# ( 右 ・ 左 ) 大腿骨頸部骨折で入院された患者様へ

日付 経過	術後1～3日目	術後4～6日目	術後7日目
目標	合併症を起こさない。 痛みの範囲内でリハビリができる。	リハビリを継続し、日常生活に近づく。	出血や感染がなく、創部が閉じる。
内服	医師の指示で内服を再開します。 		
注射			
処置		創部の状態を確認させていただく場合があります。 10時頃までは、お部屋に居てください。	手術1週間後に抜糸します。 創部の状態によっては、抜糸日が変わることがあります。
リハビリ	術後1日目からリハビリを開始します。		
食事	医師の指示に従いながら、 食事を再開します。 		
安静	医師とリハビリスタッフの指示に従いながら、 動いていただきます。		
排泄	状況に応じて、おしっこの管を抜きます。		
清潔	手術後は抜糸するまで原則入浴できません。 許可があれば、創部を保護した上でシャワー浴ができます。		医師の許可があれば、 抜糸した翌日からシャワー浴ができます。
説明 (その他)		リハビリを継続し退院に向けてがんばりましょう。	リハビリの内容に応じて、 地域包括ケア病棟に転棟させていただく場合があります。

注1 この予定は現時点で考えられるものであり、今後検査治療等を進めていくに従って変更となる場合があります。

注2 入院期間は現時点で予想される期間です。